

## 大麻乱用の代償

私は、20歳の頃、友達に勧められて初めて大麻というものを使用しました。幼い頃から友達を作ることが苦手で、内向的な性格でしたので、仲間とのつきあいを維持するために、仲間から誘われるまま、ずるずると大麻を使用していました。「大麻を使用しても身体には悪影響がないし、煙草の方が健康に良くないんだ」という友達の言葉に、私は次第に悪いことをしているという大麻への抵抗感がなくなっていました。

私は、仕事のストレスや悩みを忘れるためという言い訳をしながら、いつのまにか、ひとりのときにも大麻を使うようになってしまいました。

もちろん最初は、私が大麻に依存することなど考えたこともなかったのですが、一人暮らしを始めたのをきっかけに、インターネットで大麻に関するさまざまな情報を検索するようになり、私の周りには大麻の情報があふれるようになりました。私は、大麻が身近にないと不安に思うようになり、また、高いお金を払って友達から大麻を入手するよりも自分で栽培の方が警察にも捕まらないだろうと思い、大麻の栽培に関する情報をインターネットで集めました。今、逮捕されて考えてみれば、この時の大麻に対する強い執着心こそが、依存の始まりだったと思います。

その後、私は、何回か失敗を繰り返すうちに、大麻栽培に対する思いは次第にエスカレートし、果てには、大がかりな大麻栽培を考えるようになりました。気がつくと、大麻の種子を1粒何千円、何万円も払ってインターネットで購入し、さらに、栽培キットや蛍光灯を買い、部屋の改造に数十万円もかけ、小遣いをすべて使ってしまうまでになっていました。家族との連絡や友達との付き合いも断ち、大麻を育てることに夢中になり、部屋の中も散らかり放題、せっかく就職した会社もわずか数ヶ月で無断欠勤のため解雇され、生活はどん底に落ちました。

こんな状況になっても、まだ、大麻に執着し続け、収穫した大麻を自室で吸煙しながら新しい就職口を探す努力もせず、こんなくだらないことにお金をつぎ込んだため、大切な貯金も底をつき、残る道は栽培した大麻を他人に売って生活していく以外になくなっていました。

友達から勧められ、好奇心で始めた大麻乱用者のひとりにすぎなかった私がとうとう密売人になり、インターネットの掲示板にあたかも大麻通を装って大麻売買の広告を掲載し、何の罪悪感もなく他人に売りさばき、不法な収入を得ていたこと、結局、大麻乱用の行き着く果てはこんな生活でした。

現在、私は身柄を拘束され、何もない狭いコンクリートの部屋で過去の過ちを回想する機会を与えられました。長期間の大麻の乱用で失ったものは、人のつながり、信頼など、私にとってお金では取り戻すことができない大きなものであったことをこの狭い部屋で痛感しています。もう二度と後戻りすることはできません。この大きな自分自身への代償はこれから一生かけて精算し、取り戻していこうと思っています。

(30歳代 男性)